

愛の家だより

令和6年
7月号

知的障害者総合福祉施設 愛の家
発行責任者 上野 隆幸
編集責任者 森口 威

今年も交流にやってきました！

淡輪小学校人權研修修より

先日、淡輪小学校6年生1組、2組合計53名の皆さんが「人權学習」の一環として、工房みさきにきてくれました。作業体験と障がいに関する理解について座学で学んでいただきました。

座学では、身体障がい、精神障がい、知的障がい、発達障がいの概要について解説し



段々上手になってきました！

障がいを持つ人を援助するうえで「困っている人の気持ちに寄り添えること」が大切であることをお伝えさせていただきました。

作業体験では、3つのグループに分かれていただき

願いごとが叶いますように！

愛の家七タレクより

ささのはさらさら、のきばに揺れる、おほしさまきらきら、今年も七夕の季節がやってきました。

民生委員の会長から、大変立派な笹を今年も寄贈していただき、それぞれが、短冊にお願いごとを書いて、笹に結びました。

「ケガせずに健康で元気に過ごせますように」「家族が元気に過ごせますように」というようなお願いごともあるれば、「お金がたくさんふってきますように」「チョコレートがたくさん食べたい」などのユニークなお願いごともありまし



短冊に願いを込めて

た。今年も皆さん、元気に過ごせますように。皆さんのお願いごとが、かなうといいですね。

事務 森口 威

ができて大喜びでした。帰り際、「あの赤い服の女の子ずっと頑張ってたんやけど、すごいなあ」と一人の男の子が利用者さんの事を話してくれました。

そのお話を「褒めていたよー」と話すと「えーっうれしい！」と大変喜んでいました。

地域から社会に障がいの理解が広がることを祈り今後もこのような機会を大切にしたいと考えています。

工房みさき 服部 太志

【コラム】いよいよ夏真っ盛り今年も猛暑になるようです。夏という漢字は人が大きな面を被って舞っている様子を象ったものだそうです。夏に祖先のための祭りが催され踊りを奉納していました。そこから「夏」という漢字が成り立ったそうです ◆夏と言えば、夏祭り、花火に海水浴、かき氷と楽しいイメージがあります。今年もスイカ割りや流しそうめん、愛の家夏祭りと楽しい思い出をたくさん作って欲しいと思います。

一方で8月の和風月名は「葉月」葉の落ちる月「葉落月」が転じて「葉月」。

旧暦8月は秋にあたり紅葉が進み葉の落ちる頃になります ◆1年が急に過ぎるよう感じます。それぞれが思い進める計画は順調か振り返り子どもの頃の夏休みの宿題のように慌てて仕上げようなどはないよう「想定と準備」をしっかりとお願いいたします。(上野)

平時の備えを確実に！



真剣にディスカッションを行いました

6月28日、BCP(事業継続計画)をテーマとした職員研修会を愛の家で開催しました。

BCPの基本概念と感染症対策の重要性についての講義と、自身の業務におけるリスクと対策を考えて頂き、グループワークでは、実際の現場での対応策をディスカッションしました。

今回の研修を通じ、参加者の積極的な姿勢と意識の向上を強く感じました。今後は、策定しているBCPを基に、感染症の他、大規模自然災害等が発生しても、事業継続が可能となるように平時の備えを確実に行っていききたいと思います。

グループホーム 山口 真吾

8月・9月の予定

<8月の予定>

- 8月 23日(金) 工賃支払日
- 8月 26日(月) 保護者会役員会・サービス向上委員会
- 8月 30日(金) 帰宅日
- 9月 1日(日) 帰所日

<9月の予定>

- 9月 10日(火) 工房みさき保護者会
- 9月 25日(水) 工賃支払日
- 9月 27日(金) 帰宅日
- 9月 29日(日) 帰所日
- 9月 30日(月) 保護者会役員会・サービス向上委員会

※愛の家では毎月帰宅日と帰所日を設定していますが、設定日以外での帰宅対応もさせていただきますので、帰宅、外出、面会等のご希望がございましたら、愛の家までご連絡ください。

学んで、食べて、歌って、楽しみました！



かがやき3丁目レクリエーションで和歌山県立博物館の水族館と、昼食後にカラオケボックスで歌を歌って楽しみました！

7月にボランティアに来てくださった方

児童部の学習支援をしてくださった方

サロンを開催してくださった民生委員の皆さま

工房みさきにて日中活動支援をしてくださった方

ありがとうございました。